



Monthly Times 市高 H27.4月号

和歌山市立和歌山高等学校 全日制

<入学式> 4月9日(木)和歌山市長、市教育長 ご臨席



山本昌之 学校長式辞

春爛漫のこの佳き日に、和歌山市長様、和歌山市教育長様、育友会長様をはじめ、多数のご来賓ならびに保護者の皆様方のご臨席を賜り、ここに平成27年度和歌山市立和歌山高等学校全日制の入学式が盛大に挙行できますことを心からお礼申し上げます。

只今、入学を許可しました総合ビジネス科161名、デザイン表現科40名、普通科60名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学試験の難関を突破した皆さんの努力に敬意を表し、在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎します。

また、この日を待ち望み、お子様の成長を支えてこられた保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

さて、新入生の皆さん、今日から市高の生徒です。本校への入学を強く志願し、合格を一途に信じて勉学に励んできた皆さんの、これまでの道のりは決して平坦なものではなかったと思います。それだけに、この度の合格の喜びは、これまでの人生の中で最高のものとなったのではないのでしょうか。どうか、この厳しい受験を立派に乗り越えた自信と誇りをしっかり持つとともに、その陰にはご家族や中学校の先生方のご支援があったことに感謝しながら、これからの高校生活の第一歩を力強く踏み出してください。

今日から始まる高校生活の一つ一つの出来事が、青春の軌跡として皆さんの心に刻み込まれていくことを考えますと、是非とも、楽しく充実した毎日を過ごしてほしいと強く願わずにはいられません。本校の先輩たちは、学習や部活動などで高い目標を掲げ挑戦し、進学や就職で、たくさんの希望進路を実現してきました。皆さんも夢や目標を抱き、市高の生徒としてその実現に向かって精一杯努力してください。

高校生活の出発に当たり、室町時代後期から戦国時代にかけての安芸の戦国大名、毛利元就（もうりもととなり）の逸話「三本の矢」を紹介したいと思います。この逸話は、元就が書いた直筆の書状「三子

教訓状」に由来する創作とされていますが、死ぬ間際の元就が、三人の息子を枕元に呼び寄せて教訓を教えたといわれます。元就は最初に、一本の矢を息子たちに渡して折らせ、次はさらに三本の矢束を折るよう命じたそうです。息子たちは誰も三本の矢束を折ることができなかったことから、一本ではもろい矢も束になれば頑丈になることから、三兄弟の結束を強く訴えかけたというものであります。

本校の校訓は、「誠実 思索 実践」という三つの言葉から成っており、「三本の矢」同様、この三つが揃って身に付いてこそ市高の誇れる立派な生徒と言えるのです。

「誠実」という言葉には、「真心をもって人に接する」という意味があり、人とコミュニケーションを交わし、交流することが大切であり、互いの成長に繋がると考えます。学校という集団生活において、お互いの立場を尊重し、相手の気持ちを考えられる誠実な人になってほしいです。

次に、「思索」という言葉には、「筋道を立てて考える」、すなわち、自らが基礎・基本や様々な条件などを基に考え、問題を解決していくことを意味しています。毎日の授業を真剣に受け、予習や復習をしっかりと行い、学力向上に励んでください。心身共に大きく成長し、吸収力が盛んな高校時代において、思索こそが将来の大成に役立つと考えます。

最後に、「実践」という言葉には、何事にも積極的に取り組む気持ちと姿勢を持ってほしいという願いが込められています。「自ら行う」、「実際に自分で行う」ということが大切なのです。どんなに高い理想を持っていても、どんなに素晴らしい計画を立てても、実行しなければ実現できません。将来、自分の個性や能力を生かして活躍するために、必要なのは実践力です。

「誠実 思索 実践」この校訓のもと、学んだ生徒が立派に成長し、本校を巣立っていきました。このよき伝統を引き継ぐためにも、校訓を目標に掲げ一生懸命努力し、市高の生徒として素晴らしい成果を出すために頑張ってもらいたいものです。私たち教職員も一丸となって皆さんの力になります。

結びにあたり、保護者の皆様、学校教育と家庭教育は、お互いが理解・協力し合っこそはじめて、子どもの心に響く教育ができるものと考えています。そのためには、家庭と学校が「お子様の健やかな成長」を願うという共通の視点に立ち、共に取り組んでいかなければならないと考えていますので、どうかご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、新入生の皆さんの、市高での輝かしい出発を祝し、これからの益々の成長を願って、私の式辞といたします。

< 普通科土曜講座→本年度より進学特別講座に改名 >

4月18日(土)から

普通科 1,2,3 年生を対象に、土曜講座は本年度はインターハイ・国体の関係で土曜日ならず夏季休業中の平日や休日に集中して講座を開設することになり多少例年より日程が変わりました。またより生徒のモチベーションを上げ、センター利用等の進学志望者に開設する目的に対応した進学特別講座に改名しました。

4月18日(土)から始まっています。1年間全講座を受講できるように頑張りましょう。なお、1年生普通科生徒・保護者対象に開講式が当日午前8時40分から階段教室で行われました。各担当先生より熱意ある説明に、生徒・保護者共にモチベーションが上がったと思います。[次ページに続く](#)

この気持ちを卒業まで大切にしてください。

<遠足> 4月30日(木)

遠足は新年度始まって、各クラスの生徒同士や先生とのコミュニケーションを育てる場になります。1年生はデザイン表現科以外、神戸散策、2年生は修学旅行のある学年なので、デザイン表現科以外、近場のポルトヨーロッパ、3年生総合ビジネス科は京都水族館と京都散策、デザイン表現科は全学年神戸方面美術館見学、普通科は四季の里公園でのバーベキューと、それぞれ良い思い出が出来ました。

